



令和7年12月9日（火）第19号
北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園
文責 校長 谷 義久

雇用促進セミナー・技能検定 ～中央高等学園で開催されました～

雇用促進セミナー

今回で13回目となる北九州市立特別支援学校高等部雇用促進セミナーが本校で開催されました。北九州市内を中心とした企業、事業所45社61名の参加申し込みがあり多数の企業、事業からご来校いただきました。今回初めて参加する企業、事業所が18社あり、特別支援学校高等部生徒の雇用に対する関心の高さを感じました。校内を見学していただき生徒の学習の様子を見ていただくこともできました。気持ちのいいあいさつと、学習に向かう姿勢がすばらしいと感想を述べられていました。

また終了後には、事務・軽作業班のカレンダーやポチ袋。農耕班の野菜やハーブソルトなどの加工品。パン・接遇班のお菓子セツの販売と地域交流室でパン接遇班による喫茶を行いました。

多くの企業、事業所に皆さんがご利用いただき、接客のコミュニケーションが自然にできていますねとおはなしされていました。



「Kicksの会」保護者の皆様には、寒い中周辺道路に案内板をもって立っていただき、ご来校者へのご案内をしていただきました。大変ありがとうございました。ご協力、感謝いたします。

清掃技能検定

雇用促進セミナーと同時に体育館では、清掃技能検定が実施されました。市内の特別支援学校高等部生徒が本校に集まり、日ごろより培った清掃技能の検定を受けました。



張り詰めた緊張感の中、検定を受けた生徒は真剣に検定に臨んでいました。今回は、「水モップ」「テーブルふき」「自在ほうき」の3部門の上級検定が実施されました。検定を受けるまで、2,3年生の清掃班の生徒たちは、何度も練習を繰り返し、スキルアップに努めていきました。検定に向けて準備を進めたからこそ、検定本番ではうまくいだろうか、失敗したらどうしようかと不安と緊張が迫ってきます。不安や緊張があるということは、十分に準備をしてきた証拠です。「大丈夫」と自分を信じて臨めばうまくいくのです。

皆さんは、実習の面接や、就職に向けての面接など、緊張する場面がやってくると思います。そんな時は、中央高等学園で学んできたことを信じて、自信を持って臨んでください。

みなさんなら、大丈夫です。

後期産業現場等における実習報告会 12月10日(水)

1,2年生が11月におこなった、後期産業現場等における実習の報告会を開催いたします。実習を通して学んだこと、感じたこと。今後の学習で伸ばしていきたい課題などを生徒一人一人が発表します。1,2年生の生徒、多くの保護者のまでの発表は緊張するとは思いますが、自分を信じて発表することとします。今回、多くの企業、事業所で実習を行っています。様々な実習先を知ることができる機会でもあります。保護者の皆様におかれましては、実習報告会後に行う進路懇談会もあり、年末のご多用の時期とは存じますが、ご来校いただければ幸いです。



1、2年生 進路懇談会

○1年生・・・12月17日（水）18日（木）19日（金）22日（月）

○2年生・・・12月11日（木）12日（金）15日（月）16日（火）

保護者と担任、進路支援部を交えての懇談会を実施します。次年度の前期実習の希望職種や将来の進路（仕事や生活）についての懇談になります。実習や日々の学校生活を通して分かってきている好きな仕事、得意なこと、苦手なことを自己理解し、卒業後の進路を生徒が自己選択、自己決定を目指して進路指導を進めてまいります。

